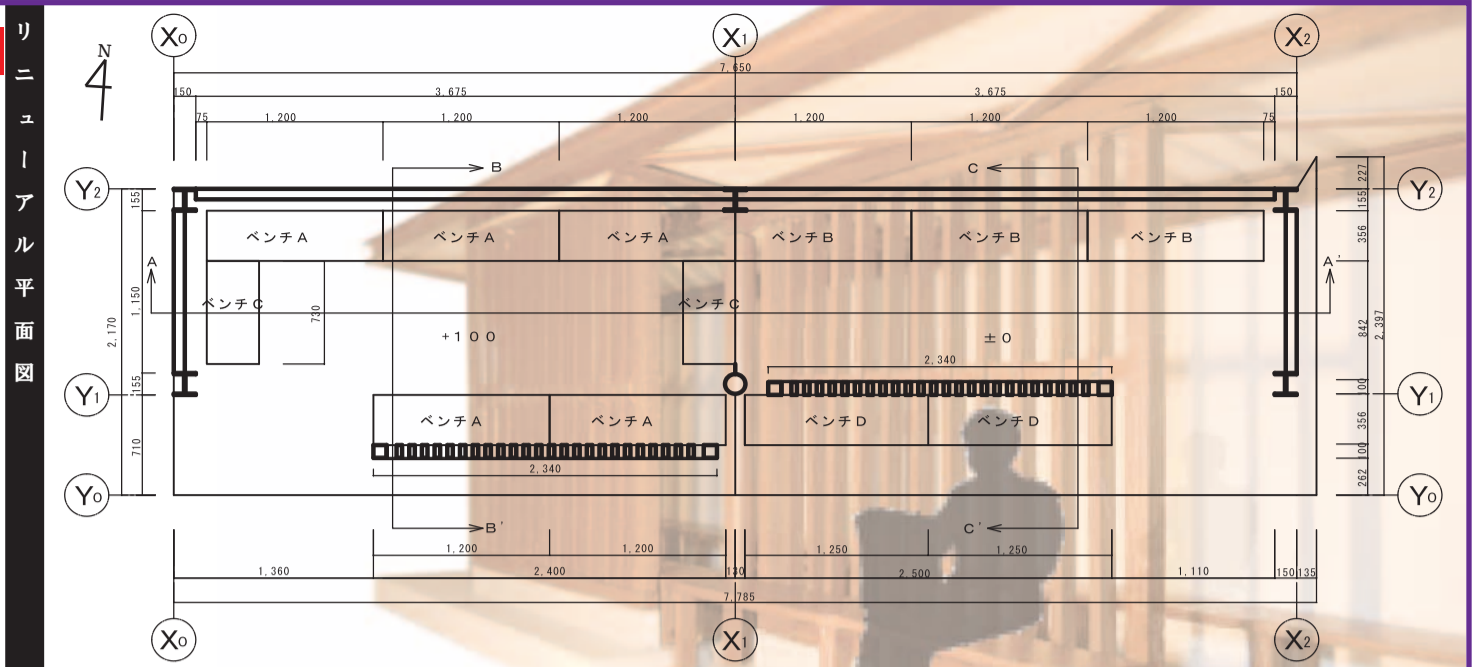
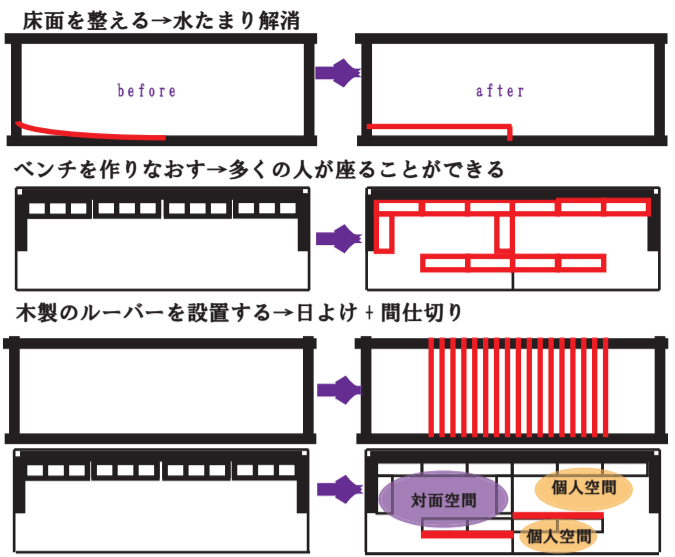


設計概要

設計条件
既存の柱・梁・屋根を残す。



たてものがかり

諫見研究室 08TA099 松尾恒

～中学・高校生とのコラボレーションによるバス停の設計と施工体験活動～

敷地

福岡市西区今宿青木
中村学園三陽中学・高等学校
バス停 (三陽高校前)



問題点

- ・老朽化により、見栄えが悪い。
- ・雨天時にはバス停内に水たまりができ、バス停を使用できなくなる。
- ・グラウンドから砂ぼこりが飛んでくる。
- ・夏は日差しが直接あたるため、暑い。

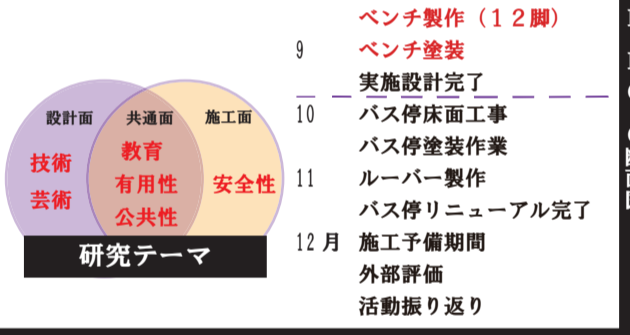


背景

私は、学生生活の集大成として学んだことすべてを活かせること、そして設計したものを形に残したい。と思い「設計・施工・教育」という柱をたて、活動を行おうと考えた。その中で第一種高等学校（工業）の教員免許を取得予定の私は、現役高校生に授業を行い、共同で建物を建てようと考え提案を行った。そして今回共同で行ってもらえるようになった中村学園三陽中学・高等学校から、「バス停をどうにかきれいにできないか」という提案を受け、バス停のリニューアル活動を始めた。

コンセプト

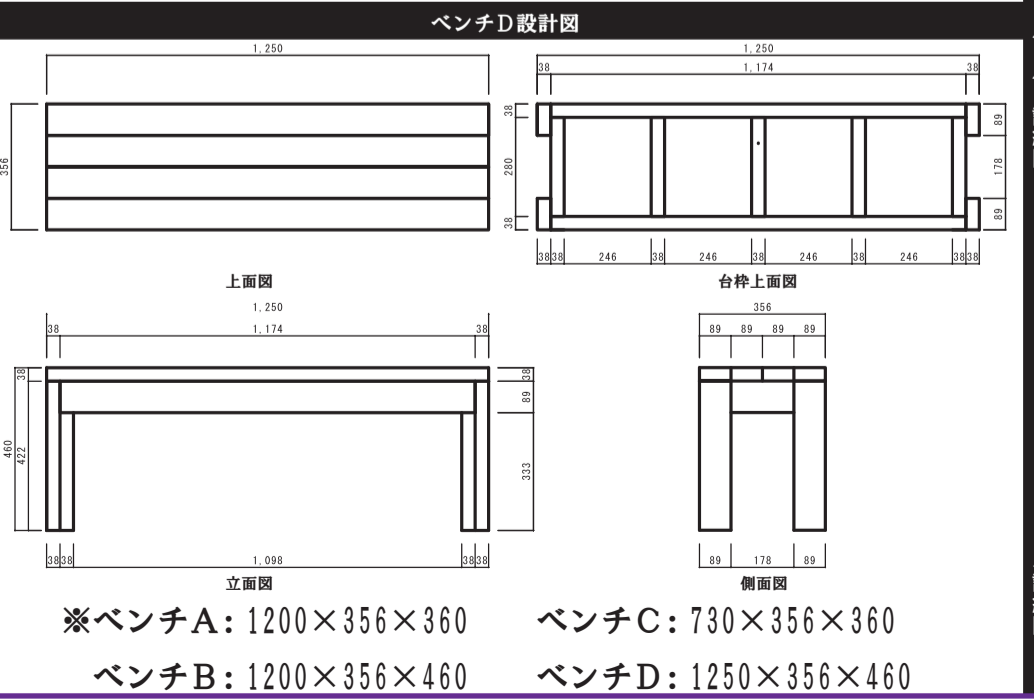
クライアント (中村学園三陽中学・高等学校) のニーズに合わせて設計を行っていく。その中で、建築の知識が全くない普通校の生徒に対し、建築について授業を行い、より良いバス停となるよう指導&設計を行っていく。



スケジュール

- 4月 活動開始
- 敷地調査
- 5月 バス停リニューアル案構想
- 図面作成
- 6月 模型製作
- 高校文化祭にて展示活動
- 7月 高校生対象アンケート分析
- 活動スケジュール調整
- 8月 ベンチ製作練習
- ベンチ製作 (12脚)
- 9月 ベンチ塗装
- 実施設計完了
- 10月 バス停床面工事
- バス停塗装作業
- 11月 ルーバー製作
- バス停リニューアル完了
- 12月 施工予備期間
- 外部評価
- 活動振り返り

教育実践



実施設計

